



「人権」って…。
～自分にできること、考えてみよう!～
校長 羽田野庸史

11月に東京で54年ぶりの雪が降りました。あらためて学校だよりを見直すと、7月号以降、冒頭のあいさつはすべて天気に関するもので、それも定型の時候のあいさつはなく、気象の異常性について触れたものばかりでした。今後も天候に関連して様々な対応を求められることが想定されますが、児童の安全第一で考えていきたいと思ひます。

さて、12月10日は「世界人権デー」です。我が国では、その12月10日を最終日とする1週間(12月4日～10日)を「人権週間」としています。本校でも、これを受けて12月1日～7日までを人権週間として様々な取り組みや日常活動の見直しを行います。

1・2年生は人権についての作品やポスター、3～6年生は人権についての標語をかき、これらを玄関ホールや教室、廊下に掲示します。12月1日は、人権集会として運営委員会が中心となってユニセフ集会を行います。また、この日は毎月一回設定している「人権の日」として給食にロシア料理を出します。その他、図書室には、人権・友達・命に関わる本を特設したり、全校朝会後の今日の歌は、「世界が一つになるまで」を歌ったりします。これらの取り組みを通して、女性、子供、高齢者、障がい者、外国人などの人権課題について考える機会としていきます。また、私たち教師も日常の教育活動を「人権」という視点から見直し、私達自身の人権感覚・人権意識も磨き、高めていきたいと思ひます。

この機会にぜひ各ご家庭でも、「人権」について話題にさせていただきたいと思ひます。「人権」というと抽象的で、分かりにくい感じがするかもしれませんが、次の2つの視点から学年に応じて現在の自分にできることを考えてほしいと思ひます。

- ①自分自身を大切にすること
- ②自分以外の人を大切にすること

そして、これらをバランスよく実行することを忘れてはなりません。また、昨今の特徴的な人権課題としては、「インターネットによる人権侵害」も挙げられています。ぜひ児童も、教師も、保護者も一人一人が自分の人権と同じように人の人権も大切に、「お互いに仲良く、気持ち良く」過ごせる東町小でありたいと思ひます。

12月 行事予定

日	曜	行事等	放課後遊び
1	木	安全指導 人権週間始 ユニセフ集会 図書ボランティア飾り付け 個人面談④	なし
2	金	個人面談⑤	なし
3	土	日本文化の時間	なし
4	日		
5	月	委員会 子どもサミット ユニセフ募金始	4～6
6	火		3～6
7	水	Enjoy music プロジェクト(4年) 人権週間終 ユニセフ募金終 4時間授業	なし
8	木	自動車工場見学(5年)	4～6
9	金	体育朝会 租税教室5校時(6年)	2～6
10	土		
11	日		
12	月	クラブ	4～6
13	火	地域清掃(1・6年)	3～6
14	水	避難訓練	なし
15	木	音楽朝会	4～6
16	金	国会見学(6年)	2～6
17	土	日本文化の時間 英検説明会 10:00 PTA 常任委員会 10:30	なし
18	日		
19	月	水道歴史館見学(4年)	4～6
20	火		3～6
21	水		なし
22	木	終業式 大掃除 給食終 4時間授業	なし
23	金	天皇誕生日	
24	土		
25	日		
26	月	冬季休業日始	
27	火		
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		



12月の生活目標

生活指導主幹 三根 博喜

学校をきれいにしよう

経営の神様と言われた松下幸之助は、会社内の一回一回の掃除に真剣さを求めました。

「掃除をする中で、どうしたら早くきれいになるのか、どうしたら人が喜ぶかを考える人は、人の心を掴むことができる」

真剣に掃除のやり方を考え、一層の工夫に取り組むことに意味を見出したのです。松下幸之助は、全ては一事が万事であり、掃除を徹底して極めていく中で、真剣に取り組む姿勢を養われると考えたのではないのでしょうか。